
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 6月27日～7月3日

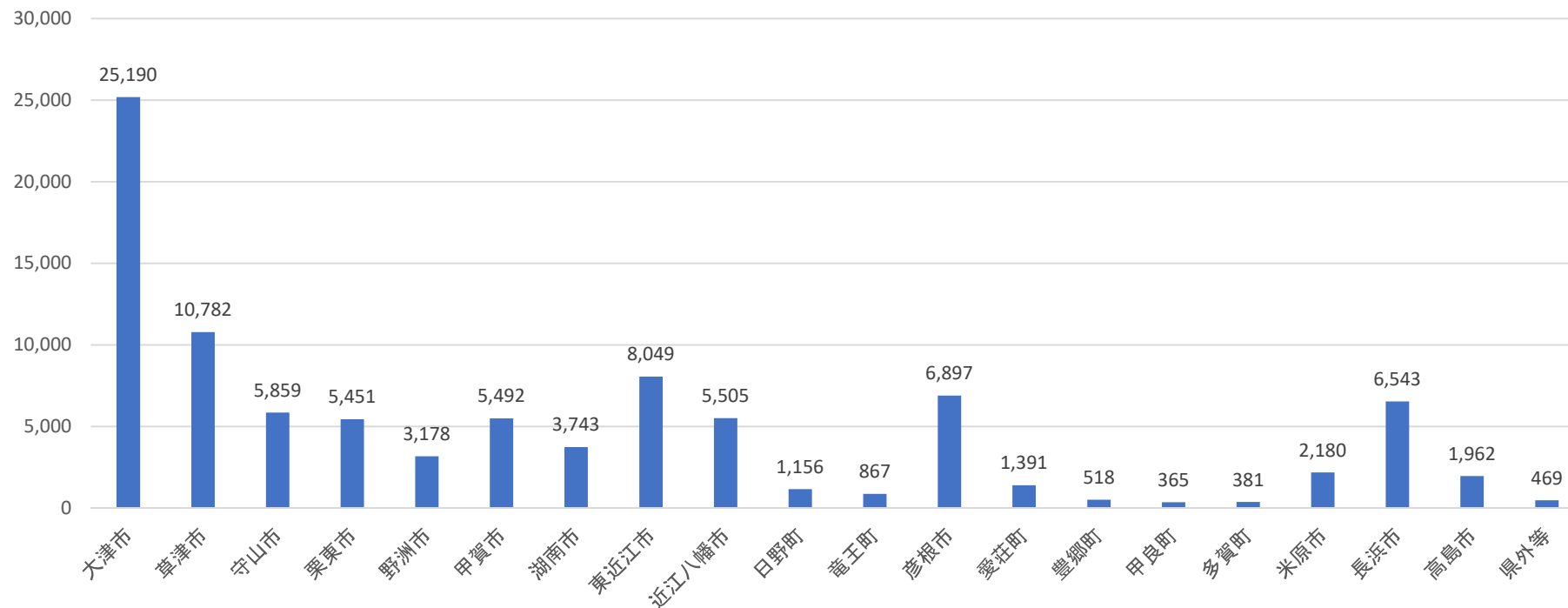
7月5日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

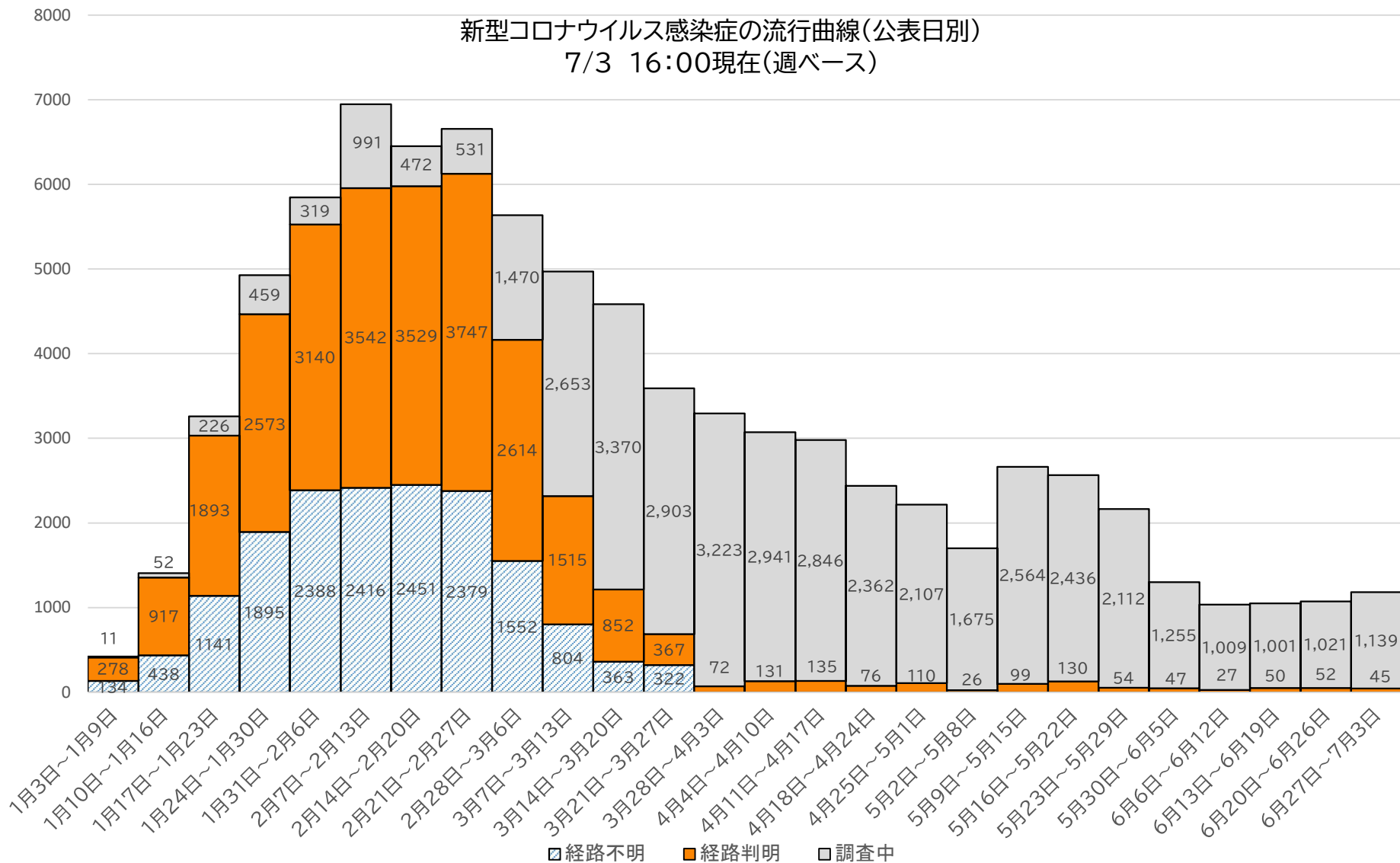
	新規感染者数
今週の報告数(6/27~7/3)	1,184人
累計(7/3時点)	95,978人

2) 市町別の累計陽性者発生状況



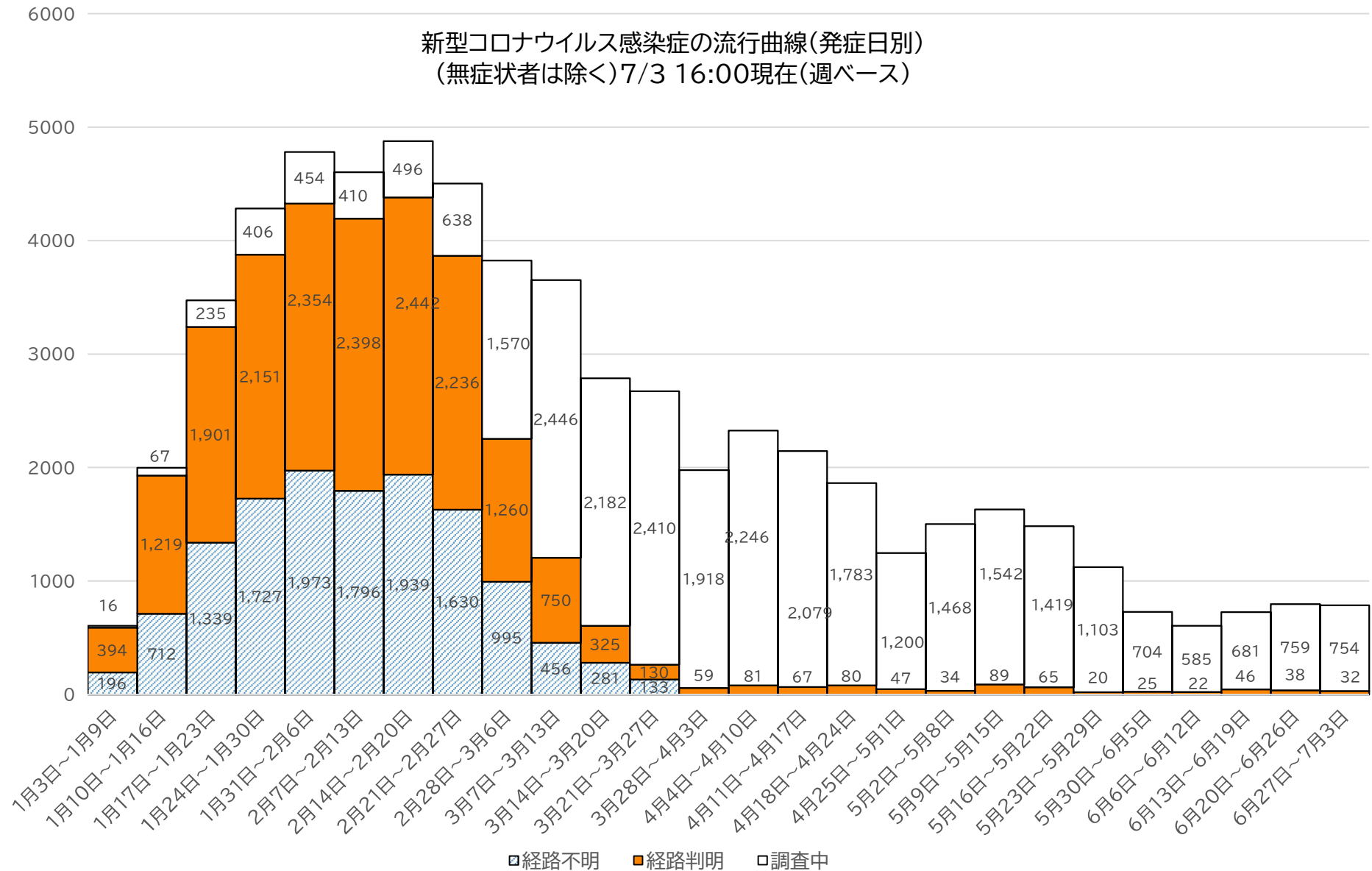
3) 県内の感染動向

① 流行曲線(公表日別)(7月3日現在)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

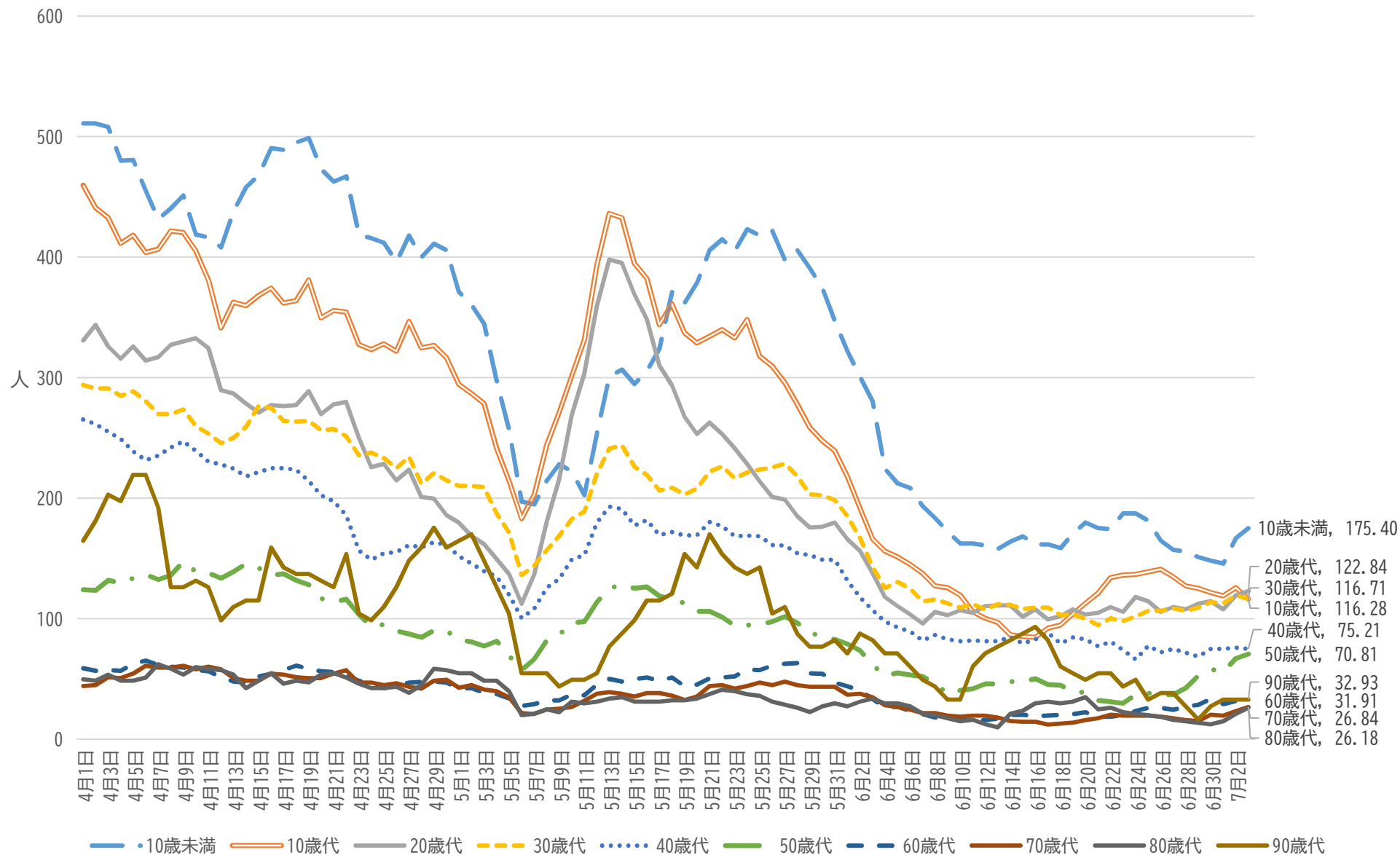
②流行曲線(発症日別)(7月3日現在)



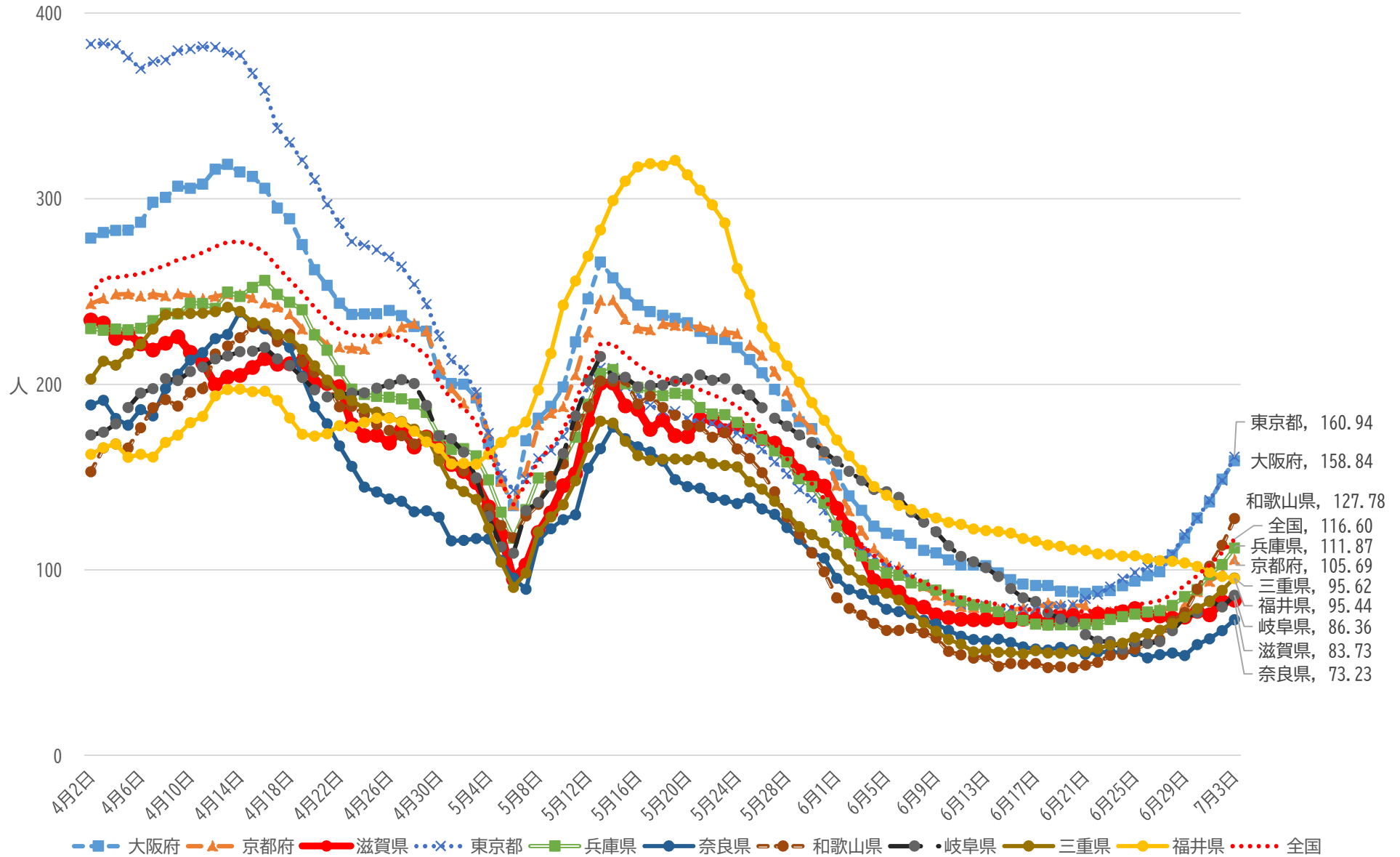
注)無症状者を計上していません。今後7/3以前に発症した患者が届出されることがあります。

4) 年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

(公表日 直近7日間の累計患者数) (R4.4/1 - 7/3)



5) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移 (直近7日間の累計患者数) (R4.4/1 - 7/3)



2、県内の感染状況と体制について(7/3現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数			空床数		療養者数			清掃・修 理待ち	空数
			県内発生	その他				県内発生	その他		
総数	391	68	62	6	323	630	71	70	1	32	527

2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数					入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡	
			入院中								
				重症	中等症	軽症					
PCR検査数	434,302										
(うち行政検査分	187,518)	95,978	1,448	62	0	17	45	1,316	70	94,309	221
(うちその他検査分	246,784)	(うちPCR検査判明分	56,846)					(うち自宅待機	21)		
抗原検査数	251,186	(うち抗原検査判明分	39,132)					(うち自宅療養	1295)		

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

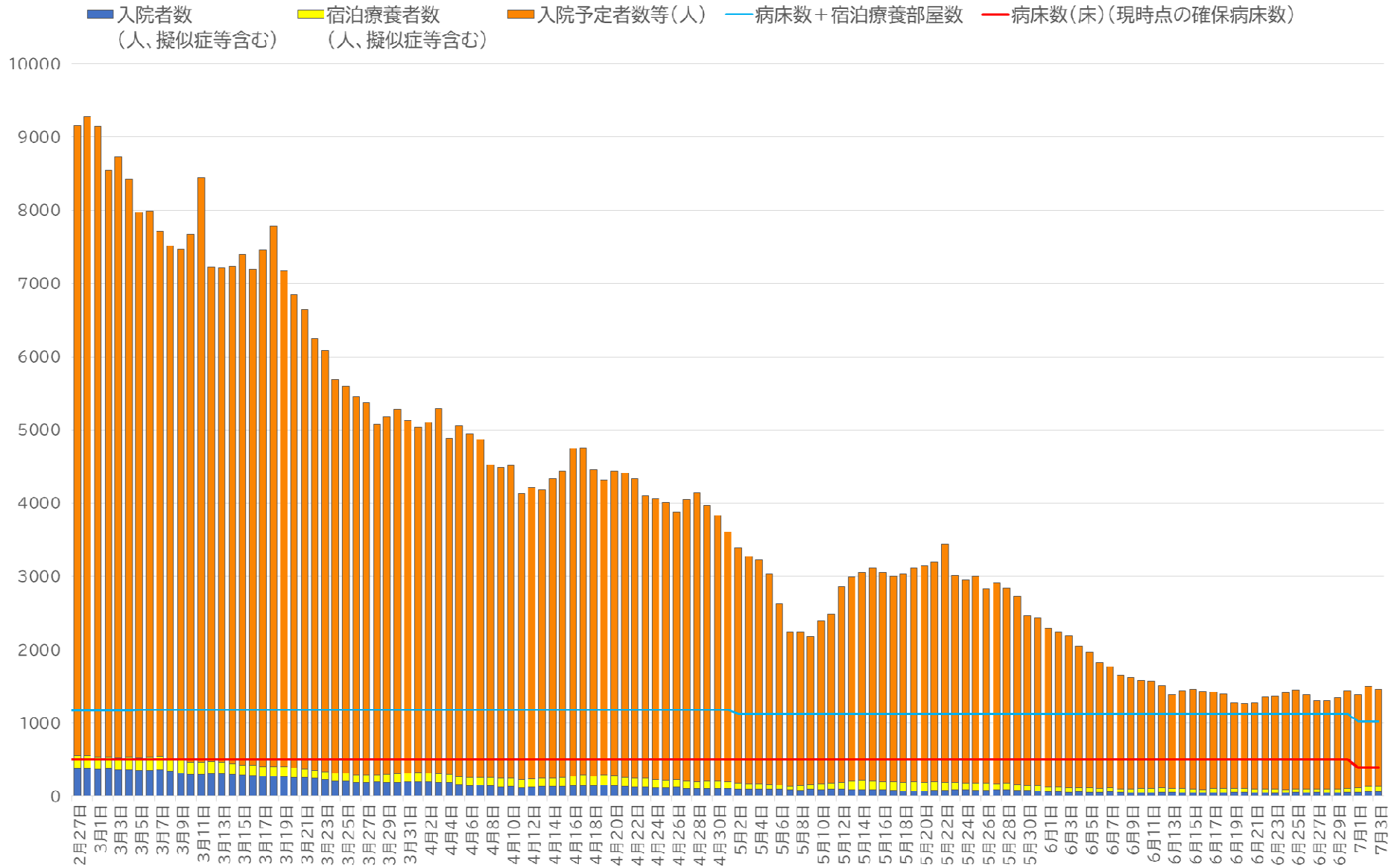
中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

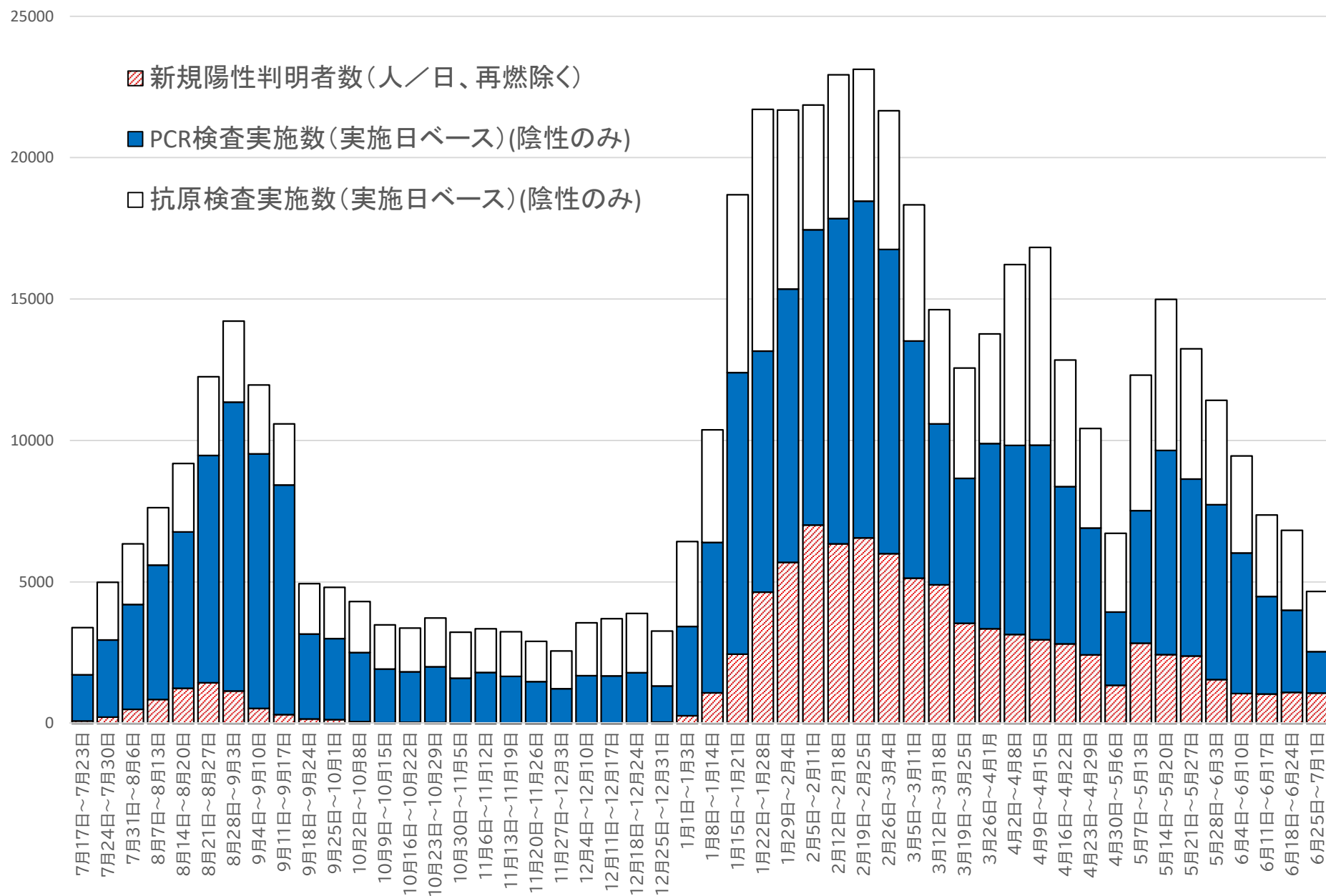
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

0人

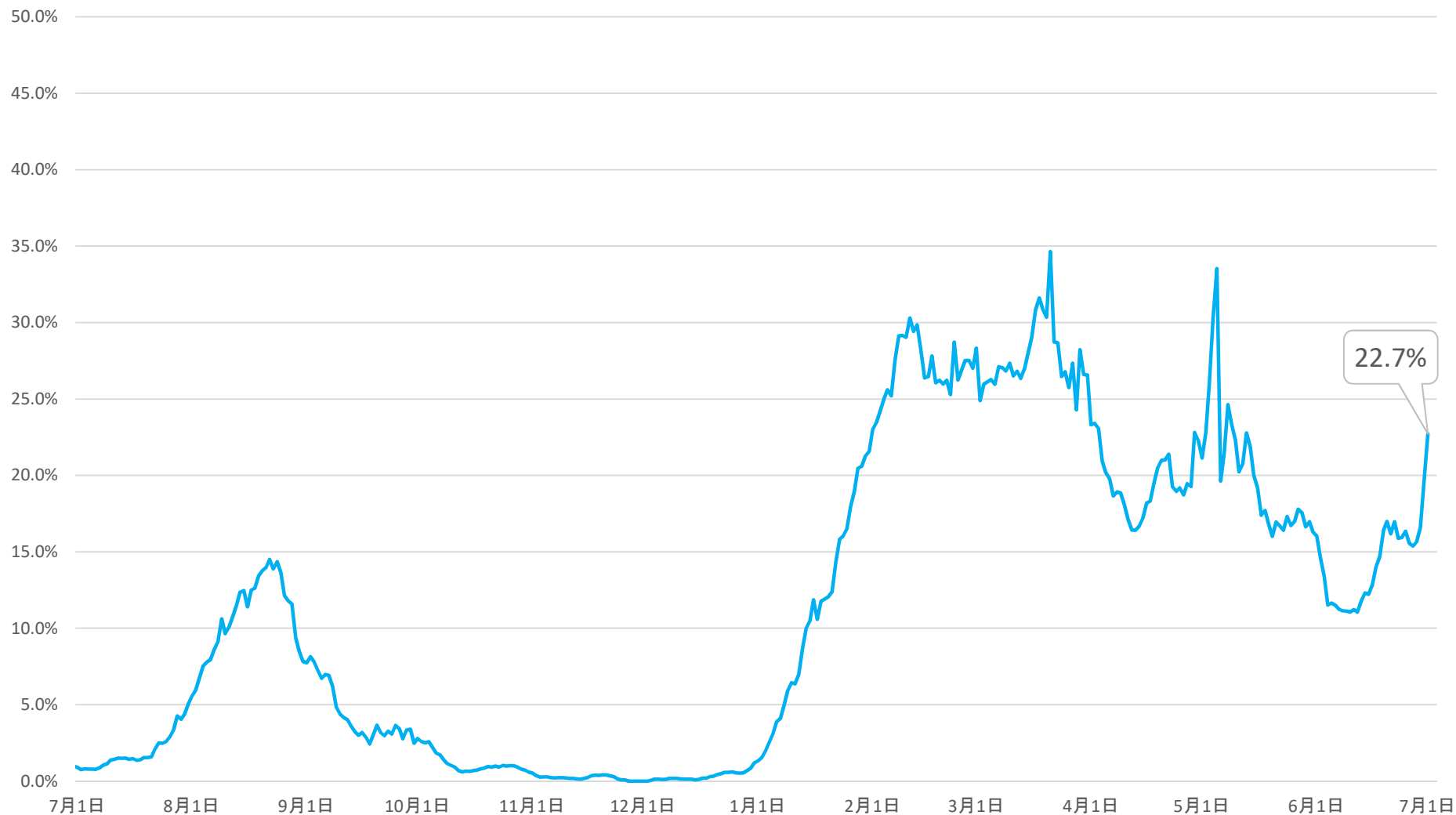
3)入院医療体制について



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



5)陽性率(7日間移動平均)

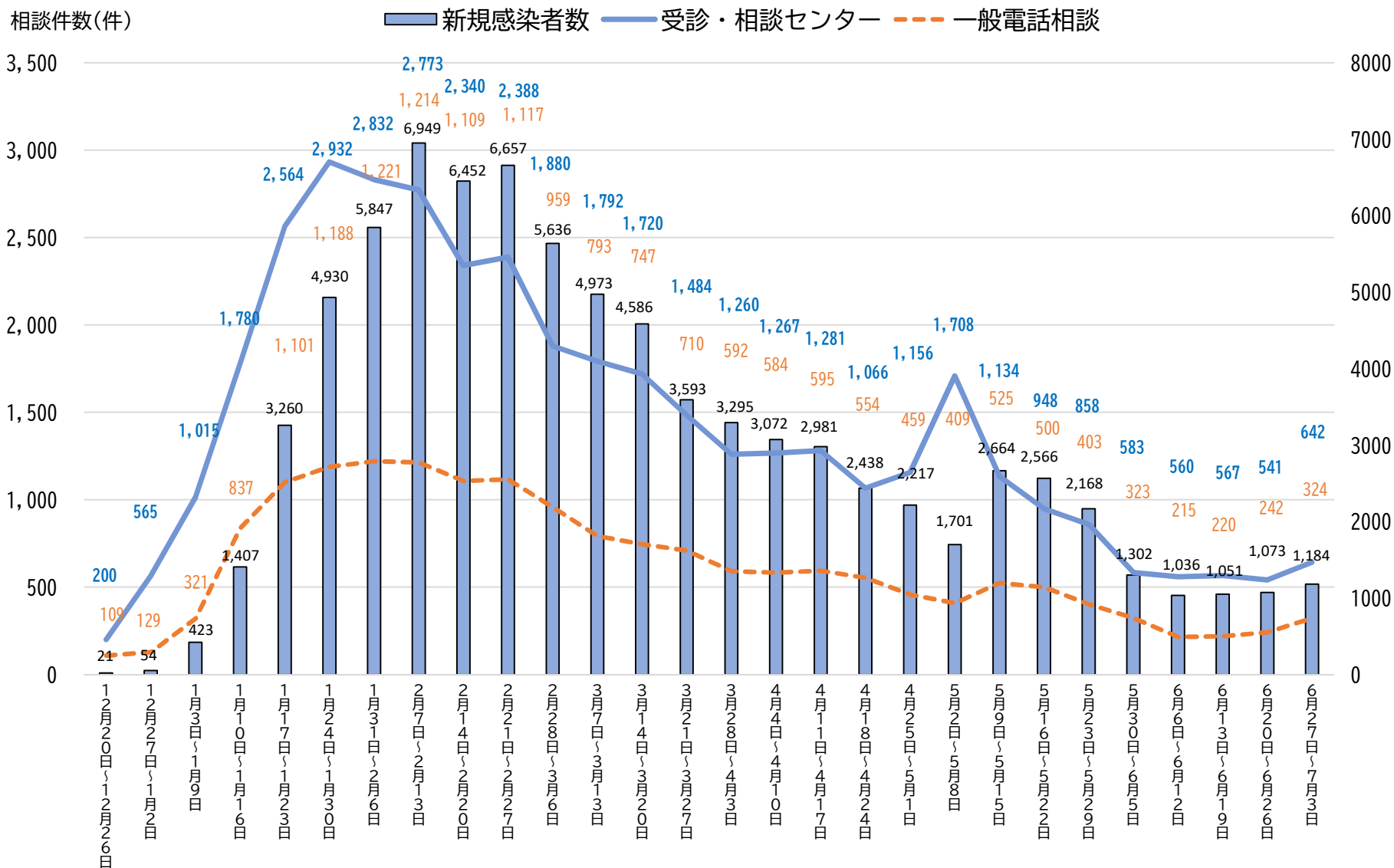


- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、7月1日現在の陽性率は22.7%でした。

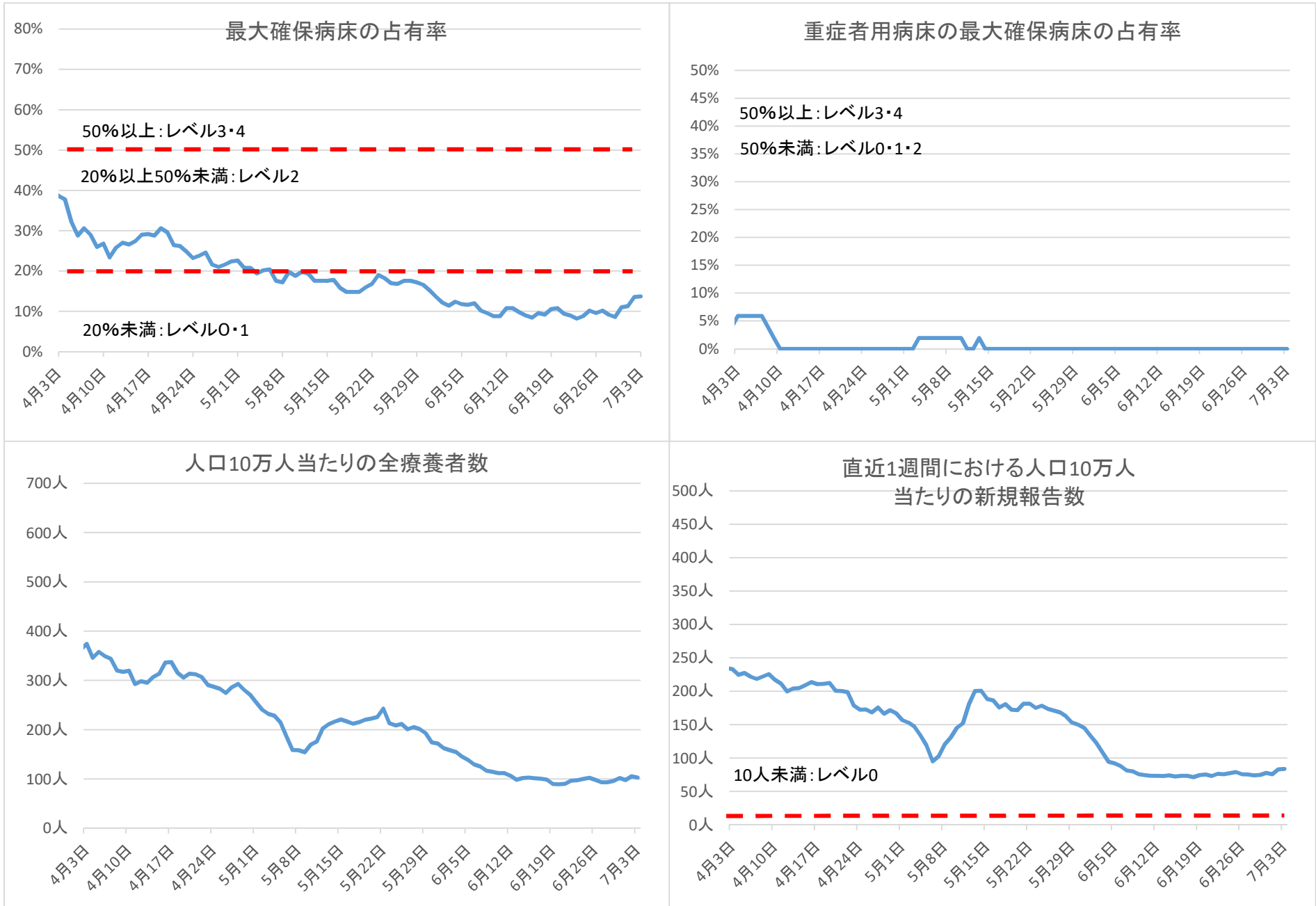
6) 相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)



7)その他の県内の感染動向



評価(6/27~7/3の感染状況)

- 新規陽性者数は、多くの都道府県で増加傾向が見られます。減少が見られる地域でも減少幅が鈍化しています。新規陽性者数の増加に伴い、重症者数等も緩やかに増加しています。
- 本県も新規陽性者数が3週連続で前週よりも多くなり、今週は今週先週比が1.10と緩やかな増加が見られます。年代別では、10歳未満および50歳代で増加傾向が見られますが、その他の年代では横ばいとなっています。今までから大阪府や京都府の増加後に、本県でも増加が見られています。近隣府県も併せて、今後の傾向に注視する必要があります。
- 7月1日に現時点での確保病床数を391床としました。最大確保病床(495床)に対する占有率は10%前後で推移していますが、新規陽性者数の増加とともに病床占有率および中等症患者数も増加しており注視が必要です。重症者用病床の占有率は5月中旬以降0%が続いています。
- 医療機関、介護関連事業所でのクラスターが散見されています。介護関連事業所内感染の予防を徹底してください。また、陽性者が施設内で療養する場合であっても確実に治療を提供できるように、嘱託医や協力医療機関と事前に調整しておくことが必要です。
- ワクチン接種後、効果は徐々に減弱します。3回目・4回目の追加接種の対象の方は計画的な接種をお願いします。また、50歳未満の若い年代の一層のワクチン接種を進めることも重要です。
- 暑い日が続く中、冷房のため窓を閉め切ることが多くなると想定されます。多くのエアコンは換気機能がない循環式です。密閉空間では感染リスクが増加しますので、エアコン利用中であっても常時換気を心がけてください。
- 2020年、2021年ともに7月から8月にかけて新規陽性者数が増加しています。熱中症等にも気をつけながら適切にマスクの着脱を行い、密の回避など基本的な感染対策は緩めることなく、「うつさない」「うつらない」行動を心がけてください。